

問1 明治初期の政治改革において、旧藩主から土地と人民を天皇に返還させた「版籍奉還」が行われた目的と、その後の1885年に伊藤博文が初代内閣総理大臣に就任した出来事の説明として、正しい組み合わせはどれですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 天皇中心の中央集権体制を強めるための改革 — 近代的な行政の仕組みを整えるための内閣制度の創設 | 2. 武士の特権を廃止して平等な社会を作るための改革 — 議会政治を開始するための大日本帝国憲法の発布 | 3. 土地の所有権を認めて税制を安定させるための改革 — 外国との不平等条約を改正するための内閣制度の創設 | 4. 藩を廃止して県を置くための一時的な改革 — 自由民権運動を抑えるための内閣制度の創設 |
|--|---|---|---|

問2 1873年（明治6年）に明治政府が実施した地租改正について、従来の年貢の仕組みを廃止し、地券の調査を完了させた際に出された法令の内容として正しいものはどれですか。課税の基準、税率、納税方法の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2022年 大阪公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 土地の価格である地価を基準とし、その3%にあたる額を現金で納める | 2. その年の収穫高を基準とし、その3%にあたる額を米で納める | 3. 土地の価格である地価を基準とし、その3%にあたる額を米で納める | 4. その年の収穫高を基準とし、その3%にあたる額を現金で納める |
|-------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|

問3 1867年に徳川慶喜が大政奉還を行った後、岩倉具視や薩摩藩・長州藩の勢力は、旧幕府側が新政府における政治的な主導権を握り続けることを防ぐためにある宣言を出しました。その直後に開かれた会議（小御所会議）において、徳川慶喜に対して突きつけられた要求の内容として最も適切なものはどれですか。（2024年 宮崎公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------------|--------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 内大臣の官位を辞退し、徳川家の領地を返上すること | 2. 武家諸法度を廃止し、全国の諸大名を天皇の家臣とすること | 3. 薩摩藩と長州藩に対して軍事同盟を破棄するよう命じること | 4. 江戸幕府を再興し、天皇を補佐する関白の職に就くこと |
|-----------------------------|--------------------------------|--------------------------------|------------------------------|

問4 明治時代初期、政府の権力が一部の有力な官僚に独占されている状況を批判し、国会を開設することを求めた「民撰議院設立建白書」が提出されました。この建白書において「有司専制」と批判された政治体制の中心人物であり、初代の内務卿として近代化を推進した人物は誰ですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 大久保利通 | 2. 板垣退助 | 3. 西郷隆盛 | 4. 吉田松陰 |
|----------|---------|---------|---------|

問5 1871年に明治政府が行った廃藩置県の説明として、その目的と社会への影響を正しく述べたものはどれですか。（2018年 広島公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 地方に政府から府知事や県令を派遣して中央集権体制を確立し、学制や徴兵令などの近代化政策を進める土台とした。 | 2. 各地の藩主に引き続き領地の統治権を認め、武士の身分や特権を維持することで、地方の政治を安定させようとした。 | 3. 鎖国政策を継続するために、沿岸部の各県に強力な軍事権限を与えて、外国船の排除を徹底させる仕組みを整えた。 | 4. 封建的な統治体制をさらに強化し、各藩が独自に徴税や軍隊の整備を自由に行えるようにして、地方分権を推進した。 |
|--|--|---|--|

問6 明治初期、銀座に煉瓦造りの建物が並んだり、人々の間で牛鍋を食べる習慣が広まったりするなど、西洋の文化や生活様式が積極的に取り入れられて社会が大きく変化した現象を何といいますか。（2025年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 文明開化 | 2. 殖産興業 | 3. 富国強兵 | 4. 廃藩置県 |
|---------|---------|---------|---------|

問7 明治維新後の日本において、福沢諭吉が『学問のすゝめ』を著し、広く読まれた背景や理由として最も適切なものはどれですか。（2017年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 四民平等が宣言されたものの、人々の間には依然として古い身分意識が残っており、近代国家にふさわしい個人の意識改革が必要だったから。 | 2. 大日本帝国憲法の発布を控え、政府が国民に対して西洋の法律や政治の仕組みを強制的に学習させる必要があったから。 | 3. 地租改正によって農民の負担が増大したため、生活を豊かにするための農業技術に関する知識が求められていたから。 | 4. 廃藩置県によって失業した士族たちが、武士の精神を維持するための心の拠り所として啓蒙書を求めていたから。 |
|---|---|--|--|

問8 明治政府が土地の所有者と地価を確定するために「地券」を発行し、地租改正を断行した主な目的として最も適切なものはどれですか。（2019年 山口公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------------|------------------------------|
| 1. 農民の税負担を大幅に軽減し、生活を安定させるため。 | 2. 政府の財政基盤を固め、毎年の税収を一定にするため。 | 3. 江戸時代のように、村全体で連帯して納税する習慣を維持するため。 | 4. 土地の売買を禁止し、すべての土地を国有化するため。 |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------------|------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 天皇中心の中央集権体制を強めるための改革 — 近代的な行政の仕組みを整えるための内閣制度の創設	1869年の版籍奉還は、土地と人民を朝廷に返すことで中央集権体制を確立する狙いがありました。一方、1885年の内閣制度の創設は、憲法の発布や国会の開設に備えて、効率的な行政運営を行うために整えられた仕組みです。初代内閣総理大臣には、のちに憲法制定の中心人物となる伊藤博文が就任しました。地租改正（土地の所有権と税制）や廃藩置県（藩の廃止）とは区別して理解する必要があります。
問2	答え 1 土地の価格である地価を基準とし、その3%にあたる額を現金で納める	明治政府は近代的な国家運営に必要な財政基盤を固めるため、地租改正を実施しました。それまでの年貢は、その年の収穫高に応じて米で納める「物納」であったため、気候による豊作・凶作や米の市場価格の変動によって政府の収入が不安定になるという欠点がありました。そこで、土地の所有権を認める地券を発行して「地価」を確定させ、その「3%」を一律に「現金」で納めさせる仕組みへと改めました。これにより、政府は農作物の出来不出来に関わらず、安定した税収を確保できるようになりました。
問3	答え 1 内大臣の官位を辞退し、徳川家の領地を返上すること	大政奉還によって政権は朝廷に返されましたが、徳川家は依然として日本最大の領地を持つ大名であり、新しく作られる議会形式の政権においても実権を握り続けることが予想されました。これを阻止したい倒幕派は、王政復古の大号令を発した当日の夜、小御所会議において慶喜に対し、官位の辞退と領地の返上（辞官納地）を命じました。これにより徳川家の経済的・政治的な基盤を奪い、新政府から旧幕府勢力を完全に排除しようとしたのです。
問4	答え 1 大久保利通	明治政府の要職が薩摩藩や長州藩などの出身者によって占められていた体制は「有司専制（ゆうしせんせい）」と呼ばれました。大久保利通はその中心として内務省を設立し、殖産興業などの近代化政策を強力に主導しました。これに対し、板垣退助らは国民の意見を政治に反映させるべきだと主張し、自由民権運動へとつながる建白書を提出しました。
問5	答え 1 地方に政府から府知事や県令を派遣して中央集権体制を確立し、学制や徴兵令などの近代化政策を進める土台とした。	廃藩置県は、それまで各藩の藩主（知藩事）が持っていた土地と人民の統治権を完全に中央政府が掌握するための改革でした。政府から任命された官吏（府知事・県令）が地方行政を担うことで、全国一律の徴税や徴兵令、教育制度（学制）の導入が可能になり、近代国家としての基盤が固まりました。
問6	答え 1 文明開化	西洋の文化や技術を取り入れて日本の生活を近代化しようとした動きを指します。煉瓦街の建設や肉食（牛鍋）の普及はその象徴的な例です。選択肢にある殖産興業は近代産業の育成、富国強兵は経済と軍事の強化を目的とした政策であり、これらとは区別して理解する必要があります。
問7	答え 1 四民平等が宣言されたものの、人々の間には依然として古い身分意識が残っており、近代国家にふさわしい個人の意識改革が必要だったから。	明治政府は四民平等の政策を打ち出しましたが、長年続いた封建社会の影響は強く、国民の意識を近代化させる必要がありました。福沢諭吉は、一人ひとりが学問を通じて知性を磨き、独立した精神を持つことが国家の独立にもつながると考え、啓蒙活動を行いました。この本がベストセラーとなったのは、新しい時代の生き方を模索していた当時の人々に強く響いたためです。
問8	答え 2 政府の財政基盤を固め、毎年の税収を一定にするため。	地租改正は、近代国家としての基盤を固めるための財政改革でした。収穫量ではなく、あらかじめ定められた地価に対して一定の割合（当初は3%）を課税することで、天候に左右されず、計画的に予算を立てられる安定した国家収入を確保することを目指しました。また、地券を発行することで、誰がその土地の所有者であるかを公的に認め、土地の売買も自由になりました。